平成25年旭市議会第2回定例会会議録

議 事 日 程 (第1号)

平成25年5月31日(金曜日) 午前10時開会

- 第 1 開 会
- 第 2 人事の紹介
- 第 3 永年勤続表彰伝達並びに記念品の贈呈
- 第 4 議長報告事項
- 第 5 会議録署名議員の指名
- 第 6 会期の決定
- 第 7 議案上程
- 第 8 提案理由の説明並びに政務報告
- 第 9 議案の補足説明及び報告の説明

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 開 会
- 日程第 2 人事の紹介
- 日程第 3 永年勤続表彰伝達並びに記念品の贈呈
- 日程第 4 議長報告事項
- 日程第 5 会議録署名議員の指名
- 日程第 6 会期の決定
- 日程第 7 議案上程
- 日程第 8 提案理由の説明並びに政務報告
- 日程第 9 議案の補足説明及び報告の説明

出席議員(21名)

1 番	大 塚 祐 司	2 番	飯 嶋 正 利
3 番	宮 澤 芳 雄	4 番	太 田 將 範
5 番	伊 藤 保	6 番	島 田 和 雄

7番	平野忠作	8番	伊藤房代
9番	林七巳	10番	向後悦世
11番	景山岩三郎	12番	滑川公英
14番	柴田徹也	15番	木内欽市
16番	佐久間茂樹	17番	日下昭治
18番	林俊介	19番	嶋田茂樹
20番	高橋利彦	21番	林正一郎
22番	林一哉		

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

市長	明智忠直	副市長	加瀬寿一
教育長	寿田哲雄	秘書広報課長	堀江通洋
行政改革推進課長	林清明	総務課長	米本壽一
企画政策課長 兼被災者支援室長	伊藤浩	財政課長	加瀬正彦
税務課長	佐藤一則	市民生活課 主幹	大木廣巳
環境課長	新行内弘	保険年金課長	加瀬喜久
健康管理課長	野口國男	社会福祉課長	加瀬恭史
子育て支援課長	山口訓子	高齢者福祉課長	石毛健一
商工観光課長	堀江隆夫	農水産課長	大久保孝治
建設課長	高野晃雄	都市整備課長	林利夫
下水道課長	石毛隆	会計管理者	宮應孝行
消防長	佐藤清和	水道課長	鈴木邦博
病院事務部長	菅谷敏之史	病院経理課長	土師学
庶務課長	横山秀喜	学校教育課長	菅谷充雅
生涯学習課長	佐久間隆	体育振興課長	石嶋幸衛
監査委員 事務局長	田杭平三	農業委員会 事務局長	高木寛幸

事務局職員出席者

事務局長 伊藤恒男 事務局次長 向後嘉弘

開会 午前 10時 0分

○議長（林 俊介） おはようございます。

ここで、会議を開会する前に、あらかじめご了解を願いたいと思います。

市の広報及び報道関係者の取材のため、この後、本議場内の写真撮影を行いますので、ご了解をいただきたいと思います。

◎日程第1 開 会

○議長（林 俊介） ただいまの出席議員は21名、議会は成立いたしました。

これより平成25年旭市議会第2回定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

◎日程第2 人事の紹介

○議長（林 俊介） 日程第2、人事の紹介。

4月1日付けの異動により、人事の紹介をいたします。

米本壽一総務課長。

伊藤浩企画政策課長兼被災者支援室長。

堀江通洋秘書広報課長。

加瀬恭史社会福祉課長。

加瀬喜久保険年金課長。

山口訓子子育て支援課長。

石毛健一高齢者福祉課長。

野口國男健康管理課長。

田杭平三監査委員事務局長。

高野晃雄建設課長。

林利夫都市整備課長。

新行内弘環境課長。

土師学病院経理課長。

高木寛幸農業委員会事務局長。

佐久間隆生涯学習課長。

石嶋幸衛体育振興課長。

石毛隆下水道課長。

鈴木邦博水道課長。

なお、その他の異動並びに昇格につきましては、過日お配りいたしました人事異動の文書によりご了承願います。

◎日程第3 永年勤続表彰伝達並びに記念品の贈呈

○議長（林 俊介） 日程第3、永年勤続表彰伝達並びに記念品の贈呈。

これより永年勤続表彰伝達並びに記念品の贈呈を行います。

過日開催されました全国市議会議長会の定期総会におきまして、市議会議員として15年以上在職し、市政の振興に努められました功績により、表彰の栄に浴されました林正一郎議員に表彰状の伝達と記念品の贈呈を行います。

林正一郎議員、前のほうにお進みお願いいたします。

（議長より表彰状伝達並びに記念品贈呈、拍手）

◎日程第4 議長報告事項

○議長（林 俊介） 日程第4、議長報告事項。

議長報告事項を申し上げます。

お配りいたしました印刷物により、ご了承いただきたいと思います。

◎日程第5 会議録署名議員の指名

○議長（林 俊介） 日程第5、会議録署名議員の指名。

会議録署名議員の指名を行います。

14番、柴田徹也議員、15番、木内欽市議員、以上の2議員を指名いたします。

◎日程第6 会期の決定

○議長（林 俊介） 日程第6、会期の決定。

会期の決定を議題といたします。

おはかりいたします。本定例会の会期は、本日から6月17日までの18日間といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（林 俊介） ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日から6月17日までの18日間と決しました。

なお、お配りいたしました日程表により会議の運営を図りたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

○議長（林 俊介） 市長より送付を受けております議案は、議案第1号から議案第8号までの8議案と、報告第1号から報告第8号までの報告8件であります。

配付漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（林 俊介） 配付漏れないものと認めます。

議案等説明のため、市長、副市長、教育長ほか関係課長等の出席を求めました。

◎日程第7 議案上程

○議長（林 俊介） 日程第7、議案上程。

議案第1号から議案第8号までの8議案と報告第1号から報告第8号までの報告8件を一括上程いたします。

- 議案第 1号 平成25年度旭市一般会計補正予算の議決について
- 議案第 2号 平成25年度旭市下水道事業特別会計補正予算の議決について
- 議案第 3号 工事請負契約の締結について
- 議案第 4号 工事請負契約の締結について
- 議案第 5号 専決処分の承認について（平成24年度旭市一般会計補正予算）
- 議案第 6号 専決処分の承認について（旭市税条例の一部を改正する条例）
- 議案第 7号 専決処分の承認について（旭市都市計画税条例の一部を改正する条例）
- 議案第 8号 専決処分の承認について（旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）
- 報告第 1号 平成24年度旭市一般会計繰越明許費繰越計算書について
- 報告第 2号 平成24年度旭市一般会計事故繰越し繰越計算書について
- 報告第 3号 平成24年度旭市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書について
- 報告第 4号 平成24年度旭市水道事業会計予算繰越計算書について
- 報告第 5号 平成24年度旭市病院事業会計継続費繰越計算書について
- 報告第 6号 平成24年度旭市病院事業会計予算繰越計算書について
- 報告第 7号 旭市土地開発公社の事業経営状況について
- 報告第 8号 専決処分の報告について（損害賠償の額の決定）

◎日程第8 提案理由の説明並びに政務報告

○議長（林 俊介） 日程第8、提案理由の説明並びに政務報告。

提案理由の説明並びに政務報告を求めます。

明智市長、ご登壇願います。

（市長 明智忠直 登壇）

○市長（明智忠直） おはようございます。

本日、ここに平成25年旭市議会第2回定例会を招集し、当面する諸案件についてご審議を

願うことといたしました。

本年も、はや5か月が過ぎようとしており、水田を渡る風に初夏を感じる季節となりました。時の流れは早いもので、私の任期もあと2か月となりました。

私は、平成21年7月の市長就任にあたり、旭市が掲げる将来都市像である「ひとが輝き海とみどりがつくる健康都市“旭”」に向かって、住んで良かった、住んでみたい、そして真に合併して良かったと思えるよう、市民一人ひとりの心が一体感を持ち、通じ合える絆づくりの醸成が必要と述べさせていただきました。

今も、この思いは変わることなく、実現に向け鋭意努めております。また、何と云っても、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による被害は甚大で、復興に向けた取り組みは、まだスタートしたばかりであります。これまでの経験を生かしながら各種事業を進め、一刻も早い、目にみえる形での復興を進めていきたいと考えているところであります。

震災復興を通じた「安全安心なまちづくり」に引き続き全力を傾注していくことが、今、私に課せられた最大の責務であると認識し、さらには人口減少の歯どめ、そして課題となっている道路、学校、道の駅の整備等についても、着実に進めていくことを強く決意しているところであります。

議会をはじめ市民の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

初めに、本議会に提案いたしました各議案の提案理由を申し上げます。

議案第1号は、平成25年度旭市一般会計補正予算の議決についてでありまして、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,940万円を追加し、予算の総額を269億3,940万円とするものであります。

議案第2号は、平成25年度旭市下水道事業特別会計補正予算の議決についてでありまして、地方債の繰上償還をするにあたり、歳入歳出にそれぞれ4,040万8,000円を追加し、予算の総額を7億7,340万8,000円とするものであります。

議案第3号及び議案第4号は、工事請負契約の締結についてでありまして、議案第3号は、旭市災害公営住宅建設工事について、議案第4号は、（仮称）飯岡地域統合保育所建設工事について、それぞれ仮契約を締結いたしましたので、この契約について議会の議決を求めるものであります。

議案第5号から議案第8号までは、専決処分の承認についてであります。

議案第5号は、平成24年度旭市一般会計補正予算について専決処分したため、議会の承認を求めるものであります。

議案第6号は、旭市税条例の一部を改正する条例の制定、議案第7号は、旭市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定、議案第8号は、旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてでありまして、いずれも地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い専決処分したため、承認を求めるものであります。

報告第1号は、平成24年度旭市一般会計繰越明許費繰越計算書について、報告第2号は、平成24年度旭市一般会計事故繰越し繰越計算書について、報告第3号は、平成24年度旭市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書について、報告第4号は、平成24年度旭市水道事業会計予算繰越計算書について、報告第5号は、平成24年度旭市病院事業会計継続費繰越計算書について、報告第6号は、平成24年度旭市病院事業会計予算繰越計算書について、報告第7号は、旭市土地開発公社の事業経営状況について、報告第8号は、議会の指定した専決処分についてでありまして、それぞれ報告するものであります。

次に、平成24年度の一般会計並びに各特別会計の執行結果について概要を申し上げます。

平成24年度の一般会計並びに各特別会計は、現在、事務当局において決算作業を進めているところであります。

財政運営にあたっては、税収等の一般財源の確保、交付金や起債等の活用を図るとともに、経費の節減合理化に努めてまいりました。

その結果、平成24年度の一般会計は、概算で歳入総額316億800万円、歳出総額290億7,400万円となり、翌年度に繰り越しになる財源を差し引いた実質収支額は22億800万円の黒字と見込まれるものであります。

また、その他の特別会計についても、おおむね順調な決算となる見込みであります。

次に、東日本大震災発生から今日までにおける被災者の生活再建、復旧・復興に向けた取り組みなどについて申し上げます。

初めに災害の支援状況について申し上げます。

本市単独の災害見舞金については、3,382世帯に対して2億3,551万円を支給いたしました。また、災害義援金については、3,574世帯に対して、国・県分を合わせて13億6,433万4,100円を配分し、このうち市の義援金としては4億8,833万4,100円を配分しております。

なお、これら災害見舞金並びに災害義援金の申請受付については、広報紙等でもお知らせしてございますが、4月30日をもって終了しているところであります。

このほかに災害援護資金の貸付については、5月1日現在、106件、貸付総額2億2,002万円の申し込みがありました。

次に、国及び県の支援金の支給状況について申し上げます。

国の被災者生活再建支援金については、基礎支援金が、対象世帯の約99パーセントにあたる803世帯に、加算支援金が、対象世帯の約78パーセントにあたる628世帯に、合わせて13億3,275万円が支給されております。また、県の液状化等被害住宅再建支援金については、271世帯に、1億3,399万6,000円を支給したところであります。

次に、応急仮設住宅について申し上げます。

応急仮設住宅は、5月で貸与期間の2年が過ぎ、1年間の延長が決定された中で、4月に再度、戸別に今後の住宅再建等に関する意向調査を実施し、引き続き入居を希望する方々について、今月、契約を更新いたしました。現在の入居者数は、旭地区が19世帯39人、飯岡地区が65世帯158人、賃貸住宅が7世帯14人で、合計91世帯211人の方々が入居しております。

今後も、入居者の方々の住宅再建等について県をはじめ、関係機関と連携を図りながら、積極的に支援に取り組んでまいります。

次に、液状化対策について申し上げます。

市街地液状化対策事業については、現在、被害状況の分析作業、液状化の検証、追加地質調査の検討を行っております。今後、旭市液状化対策検討委員会による再液状化診断を踏まえ、要対策地区の設定及び対策工法の検討や事業費、個人負担額の算定を行ってまいります。

次に、災害公営住宅整備事業について申し上げます。

災害公営住宅建設工事については、5月17日に建築及び外構工事の入札を執行し、5月21日、株式会社伊藤工務店と仮契約を締結したところであり、関連する議案を本定例会に提案するものであります。

今後の予定としましては、6月に電気設備及び機械設備の入札を執行し、平成26年3月末の完成を目指して取り組んでいるところであります。

次に、復興交付金の申請状況について申し上げます。

復興事業の財源となる国の復興交付金については、5月21日に復興庁へ申請いたしました。申請事業は、前回の申請で継続協議となっていた避難道路の調査・設計費をはじめ、いいおか荘の屋上避難施設や震災に関する展示施設、また、文化の杜公園への防災倉庫の設置などです。

今後は、国の配分決定を待って、これらの事業を確実に推進してまいります。

次に、津波避難対策について申し上げます。

市では、復興計画の基本方針の一つである「災害に強い地域づくり」に基づき、津波避難

対策の一環として、三川浜地区の飯岡体育館駐車場及び椎名内西町区民館の南側に、津波避難タワーを1基ずつ建設しました。この津波避難タワーは、車椅子の利用者など、体の不自由な方でも避難できるよう、通常の階段のほかに、らせん状のスロープを併設したところがあります。

このタワーの使用方法等については、三川浜地区の皆様には5月12日に、椎名内東町・仲町・西町地区の皆様には5月26日にタワーを開放し、実際に上がって体験していただきました。また、市民の皆様や小中学校などから要望があれば随時開放し、見学・体験をしていただきたいと考えております。

また、6月23日に東総文化会館において「旭市防災フェア」を開催いたします。「想定を超える災害にどう備えるか」を演題に、群馬大学の片田敏孝教授の講演会を予定しておりますので、市民の皆様には是非お越しいただき、災害・震災について見つめ直す機会にさせていただきたいと考えております。

なお、3月に作成しました「津波ハザードマップ」につきましては、各区長を通じて全戸に配付したところであります。

今後も、地域の皆様の安全・安心のため、防災教育や各種対策を進めてまいります。

次に、この機会に市政の近況についてご報告いたします。

初めに、行政改革について申し上げます。

事務事業評価については、現在、平成24年度に執行した事業の中から本年度の評価対象事業を抽出するとともに、担当者等に対する研修会を開催したところであります。今後、評価を進めていく中で、昨年度と同様に外部の意見も取り入れながら市として方向性を打ち出し、改善策を翌年度の予算編成に反映してまいります。

また、昨年度に評価した事業の改善策についても、引き続き着実に取り組むことで、効率的で効果的な行財政運営を推進し、市民が真に求めるサービスの実現に努めてまいります。

徴収対策については、平成24年度に設置した徴収対策室を中心に、債権所管課相互の連携を図りながら、徴収率の向上に取り組んでまいりました。この結果、平成24年度については、全体で1億5,000万円程度の滞納額の縮減が図れる見込みとなり、一定の成果が得られたものと考えております。

今後も引き続き、市民負担の公平性を確保するため、債権の回収に毅然とした姿勢で臨むことで、さらなる徴収率の向上と滞納額の縮減を目指してまいります。

次に、道の駅施設整備事業について申し上げます。

旭市道の駅建設準備委員会において検討してまいりました「旭市道の駅実施計画」の策定作業が3月末に終了しましたので、計画の内容をホームページ等により公表し、市民の皆様方に広く周知を行ってまいります。また、5月9日に平成25年度第1回旭市道の駅建設準備委員会を開催し、今年度のスケジュール及び検討項目、運営組織の設立準備について協議を行ったところであります。

次に、旭中央病院検討委員会の状況について申し上げます。

3月28日に第4回、その後5月14日に第5回検討委員会が開催され、検討項目であります地域医療における旭中央病院が果たすべき役割や旭中央病院の課題とその対策、また、経営形態に関する報告書を昨日提出いただいたところであります。この報告書については、市のホームページで公表してまいります。

次に、旭市イメージアップキャラクターについて申し上げます。

4月6日に開催された袋公園桜まつりにおいて、「あさピー」をお披露目いたしました。当日は、多くの子どもたちと触れ合いながら写真撮影を行い、来園された皆様から好評をいただいたところであります。

また、5月1日に市ホームページに「あさピー」紹介コーナー「あさピーアール部」を開設いたしました。今後は、活動記録等を紹介するとともに、各種イベントに出向くなど効果的に活用しながら、旭市のイメージアップを図っていきたいと考えております。

次に、生活環境について申し上げます。

環境保全と地域の環境美化を推進するため、きれいな旭をつくる会を中心に市民の皆様のご協力をいただきながら、各種事業を実施しているところであります。

5月26日に実施いたしました春のゴミゼロ運動は、約1万人の市民の皆様のご協力をいただき、約14トンの空き缶、空きびん、ペットボトルなどの散乱ごみを回収し環境美化促進を図ることができました。きれいな旭をつくるため、今後もこの運動を継続し、ごみの減量化に向け、ごみの発生抑制、再使用、再生利用等を推進してまいります。

次に、子育て支援について申し上げます。

飯岡地域の統合保育所の建設については、5月17日に建築及び外構工事の入札を執行し、5月21日、鈴木建設株式会社と仮契約を締結したところであり、関連する議案を本定例会に提案するものであります。

子ども医療費助成事業については、少子化対策にも効果的であるという視点から、8月診療分からの通院医療費、調剤費についても中学3年生まで拡大いたします。7月上旬には広

報紙等により制度拡大の周知をするほか、対象家庭へは個別通知によりお知らせいたします。

次に、障害福祉について申し上げます。

4月8日、海上保健センター内に旭市こども発達センターを開設いたしました。この施設は、心身の発達に心配のある未就学児の成長を積極的に支援するため、言語聴覚士や作業療法士等を配置して対応するもので、現在7名の子どもたちが利用されているところであります。

次に、保健事業について申し上げます。

現在、首都圏を中心に大人の風疹が大流行しております。

特に、風疹抗体を持たない妊婦が感染した場合、生まれてくる赤ちゃんへの影響が懸念されており、妊婦と赤ちゃんの健康を守るための緊急対策として、4月1日接種分より妊娠を予定又は希望している女性及び妊婦の夫に対し、予防接種費用を助成することといたしました。

接種対象者には、市ホームページをはじめ母子手帳発行時や医療機関等により周知しており、今後も風疹予防対策に万全を期してまいります。

なお、助成に伴う所要額については、補正予算議案を本定例会に提案するものであります。

次に、義務教育施設の整備について申し上げます。

飯岡中学校改築事業については、建設を予定しております非農用地について土地改良事業の手続きが遅れている状況であります。本年度の着工を目指し事務を進めているところであります。

小学校大規模改造工事については、老朽化した校舎の改修として、本年度は琴田小学校と嚶鳴小学校を、また、小学校屋外運動場整備については、古城小学校と滝郷小学校を実施いたします。

次に、文化振興について申し上げます。

5月19日、東総文化会館においてウィーン少年合唱団の公演を開催いたしました。ウィーンの象徴、音楽大使として世界中の人々の心を癒す天使たちの歌声は、大勢の方々に感動を与え、観客から盛大な拍手が送られました。

市民参加型事業として8月4日開催予定の「旭市民音楽祭」には、15団体121人の参加申し込みを得たところであります。

また、9月29日には「あさひのまつり」の開催を予定しており、4月の広報紙等で募集のお知らせを行ったところであります。

今後も市民の文化意識の高揚が図れるよう、幅広い文化事業を展開してまいります。

次に、農業について申し上げます。

人と農地に関する問題など今後の農業のあり方について考える「人・農地プラン」を昨年度末に作成いたしました。これは、地域の中心となる経営体を決め、将来の農業の担い手を確保し、規模拡大等を図っていくもので、中心経営体以外の農業者にも農地集積などにおいてメリットがあります。プランについては、農業者の農地集積や新規就農者の情報に基づいて随時見直してまいります。

水田農業については、今年度から名称変更により「経営所得安定対策」となりますが、「農業者戸別所得補償制度」と基本的に同じ枠組みで実施されることから、市では昨年度と同様に飼料用米での取り組みで推進を図ることとし、5月21日から24日まで市内4か所で、国・県と連携した説明会を開催し、現在、取りまとめを行っているところであります。

園芸については、県の補助事業「輝け！ちばの園芸」を活用して低コスト耐候性ハウスなどの生産施設整備や施設のリフォームについて、事業主体である農業者の意向が十分反映した整備となるよう、県と連携して事務を進めております。

次に、都市との交流について申し上げます。

例年行っている幽学の里で米作り交流事業の田植えを5月3日、4日に、412人の参加により行いました。親子の笑顔が幽学の水田にあふれ、作業を通じて自然の大切さを感じてくれたことと思います。

次に、圃場整備事業について申し上げます。

平成10年に着工しました、経営体育成基盤整備事業万才Ⅱ期地区が整備完了となり、5月17日に竣工式典が行われました。今後も市内で実施されている事業につきまして、県、地元工区とともに事業が円滑に進捗するように支援してまいります。

次に、海岸保安林について申し上げます。

昨年度にユートピアセンター南側の海岸保安林に整備した減災盛土への植栽について、上総ライオンズクラブから黒松などの苗木が寄贈され、4月23日に地元の旭、飯岡両ライオンズクラブにより植栽を行っていただきました。また、4月27日には銚子商工信用組合から黒松などの苗木の寄贈並びに植栽を行っていただきました。当日は200人以上の信用組合職員の方々に作業していただき、改めて絆の強さを感じたところであります。ご厚意に対し心から感謝申し上げますとともに、今後は保安林として機能するように十分な管理をしてまいります。

次に、飯岡漁港について申し上げます。

飯岡漁港において、県に親水型防波堤として整備を行っていただいた西防波堤が3月末に完成いたしました。今後は、関係機関との連携により、利用者の安全を最優先として管理してまいります。

次に、商業の振興について申し上げます。

国においては、いわゆる「アベノミクス」と表される金融緩和を中心とする経済政策が実行されておりますが、経済情勢は依然として厳しい状況が続いております。こうした中、旭市商業振興連合会では、商店会等の振興策として、プレミアム付共通商品券の発行事業に本年も取り組んでおります。

今年度の発行は、昨年同様に7月と12月の2回を予定し、1回目の7月には7,000セット、総額7,700万円分を7月7日、8日に販売いたします。

なお、使用期間は12月に2回目の発行をすることから、半年間と設定されております。

市としても、これらの施策に対して商店街等の活性化が図られるよう、引き続き支援してまいります。

次に、工業振興について申し上げます。

あさひ新産業パークへの企業誘致については、県並びに県土地開発公社と連携しながら誘致活動を展開しております。

昨年度に進出が決定した太陽光発電を行う企業2社が、6月中に工事を終了し操業予定となっておりますが、本年度については、新規の進出は現在見込まれておりません。

今後も、地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、優良企業の誘致に向けて努力してまいります。

次に、観光について申し上げます。

旭市の三大まつりと位置づけております、「袋公園桜まつり」が4月1日から14日まで開催されました。4月6日には、袋公園桜まつり実行委員会の主催による演芸大会や、「わくわく市場」の開催、さらにはイメージアップキャラクター「あさピー」のお披露目により、1万3,000人余りの親子連れなどで賑わいを見せたところであります。

また、「旭市いいおかYOU・遊フェスティバル」が7月27日、28日に、「旭市七夕市民まつり」が8月6日、7日に開催が予定されております。

海水浴場については、本年は昨年より1週間早い7月13日から8月25日までの44日間、飯岡海水浴場と矢指ヶ浦海水浴場を開設する予定であり、観光協会をはじめ関係機関のご協力

をいただきながら、来遊者が安全で楽しく過ごしていただけるよう準備を進めているところであります。

なお、期間中に矢指ヶ浦海水浴場西側を会場として「あさひ砂の彫刻美術展」が7月16日から31日まで開催され、20日と21日には花火大会などのイベントが開催される予定であります。

また、21日に「サマーフェスティン矢指ヶ浦」が開催され、宝探し等が予定されております。

それぞれのイベントには、より多くの市民の皆様に参加をしていただき、大勢の観光客を迎えられるよう各実行委員会を中心に検討がされているところであります。

次に、「食彩の宿いいおか荘」について申し上げます。

いいおか荘については、構造検証調査を実施したところ、建物本体は一部改修工事が必要となるものの再使用が可能との結果であったため、1階は震災を後世に伝える展示スペースなどを設置し、屋上は地域住民や海水浴客等の緊急避難場所として利用したいと考えております。

また、2階・3階等については宿泊施設として民間事業者へ貸し付けすることとし、現在、必要な手続きを行っているところであります。

次に、市道の整備について申し上げます。

旭中央病院アクセス道整備事業については、国道126号から広域農道までの整備に向け、物件調査、用地取得等を進めてまいります。

飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業及び南堀之内バイパス整備事業については、引き続き工事を進めてまいります。未取得地については関係地権者のご理解とご協力をお願いし、早期完成に努めてまいります。

また、先ほども申し上げましたが、津波避難道路については、復興交付金事業として国へ申請をしたところであります。事業採択を受けた後は、早急に整備すべく取り組んでまいります。

次に、下水道事業について申し上げます。

下水道の供用区域については、認可区域の約93パーセントにあたる187.8ヘクタールの区域で使用が可能となりなりました。

現在、対象世帯2,689世帯のうち1,464世帯で使用され、日量約1,700立方メートルの汚水を適正に処理しております。

また、本年度は、ニ地先の5ヘクタールの面整備工事を予定しており、地元説明会を開催するなど早期に発注できるよう準備を進めているところであります。

最後に、病院事業について申し上げます。

平成24年度の経営状況については、医師の減少による影響が懸念されましたが、引き続き黒字経営を維持し、当期利益金約1億3,700万円余りを計上の見込みであります。

平成25年度についても引き続き経営努力を重ね、健全な経営を維持してまいります。

以上、このたび提案いたしました案件の趣旨をご説明し、あわせて市政の近況について申し上げます。

詳しくは事務担当者からご説明し、また質問に応じてお答えいたしますので、ご賛同賜りますようお願い申し上げます。

○議長（林 俊介） 提案理由の説明並びに政務報告は終わりました。

◎日程第9 議案の補足説明及び報告の説明

○議長（林 俊介） 日程第9、議案の補足説明及び報告の説明。

初めに、議案の補足説明を求めます。

議案第1号、議案第3号、議案第4号、議案第5号について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 加瀬正彦 登壇）

○財政課長（加瀬正彦） 議案第1号、平成25年度旭市一般会計補正予算（第1号）について補足説明を申し上げます。

それでは、補正予算書の1ページをお願いいたします。

第1条は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,940万円を追加し、予算の総額を269億3,940万円とするものです。

2ページから3ページまでは歳入歳出予算の款項の補正額ですので、説明を省略いたしまして、内容は事項別明細書でご説明申し上げます。

次に、歳入について順を追ってご説明いたします。事業内容につきましては、歳出のところで説明させていただきますのでよろしくをお願いいたします。

7ページをお願いいたします。

13款 2項 5目教育費国庫補助金950万円の追加は、2節小学校費国庫補助金及び3節中学校費国庫補助金として、それぞれ説明欄1番の学校教育設備整備費等補助金として計上するものでございます。

3項 3目教育費委託金201万3,000円の追加は、説明欄1番の緊急スクールカウンセラー等派遣事業委託金を新規に計上いたしました。

14款 2項 3目衛生費県補助金137万5,000円の追加は、説明欄1番の風しんワクチン接種緊急補助事業費補助金を計上するものです。

6目商工費県補助金464万2,000円の追加は、説明欄1番の千葉県消費者行政活性化基金事業費補助金を計上するものです。

8ページになります。

17款 2項 2目災害復興基金繰入金3,000万円の追加は、中小企業復旧支援事業補助金の財源として計上するものです。

18款 1項 1目繰越金1,187万円は、今回の補正財源として追加するものです。

以上で、歳入の説明は終わります。

続きまして、歳出についてご説明申し上げます。

9ページをお願いいたします。

4款 1項 2目予防費の説明欄1番、感染症予防対策事業275万円の追加は、風疹ワクチン接種費用の助成を行うものであります。

7款 1項 1目商工総務費の説明欄1番、消費者保護対策事業379万7,000円の追加は、県基金事業の期間延長に伴いまして消費者教育推進事業等を拡充するものでございます。

2目商工振興費の説明欄1番、中小企業復旧支援事業3,000万円の追加は、東日本大震災で被災した中小企業者に対し、施設、設備の復旧に係ります経費の一部を補助するものでございます。

10ページになります。

同じく2目の商工振興費の説明欄2番、工業振興支援事業80万2,000円の追加は、鎌数工業団地内の有害鳥獣の駆除を行うものです。

10款 2項 2目教育振興費の説明欄1番、小学校教材備品等購入事業1,500万円の追加及び、次ページの11ページの3項中学校費の説明欄1番、中学校教材備品等購入事業500万円の追加は、理科備品を購入するものです。

10ページに戻っていただきまして、2項小学校費の説明欄2番、小学校スクールカウンセ

ラー配置事業160万3,000円の追加及び、次のページの3項中学校費の説明欄2番、中学校スクールカウンセラー配置事業44万8,000円の追加は、被災した児童・生徒の心のケア等のため、国の委託費により小学校へ1名を追加し2名に、中学校へは新たに1名を配置するものです。

以上で、議案第1号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第3号、工事請負契約の締結につきまして補足説明を申し上げます。

裏面をご覧くださいと思います。

契約の名称は、旭市災害公営住宅建設工事（建築・外構）であります。

契約の方法は、一般競争入札で、契約金額は、2億9,127万円であります。

契約の相手方は、旭市ニの1469番地、株式会社伊藤工務店、代表取締役伊藤晃であります。

次に、契約の経過を説明いたします。

平成25年4月17日に入札の公告、4月26日までに入札参加資格申請の受け付けを行いまし、6社の申請がございました。全てが資格要件を満たしておりました。

6社による一般競争入札を執行し、入札の結果、予定価格に達したため、契約の相手方と決定し、5月21日に仮契約を締結いたしました。

なお、工事の期限は、平成26年3月17日でございます。

続きまして、議案第4号、同じく工事請負契約の締結についてでございます。

契約の名称は、（仮称）飯岡地域統合保育所建設工事（建築・外構）であります。

契約の方法は、随意契約となっております。この契約の経過を先にご説明いたします。

平成25年4月17日に入札の公告、4月26日までに入札参加資格申請の受け付けを行いまし、6社の申請がございました。全てが資格要件を満たしておりました。

この内の3社から辞退届が提出され、3社による一般競争入札を執行いたしました。

しかし、落札者がございませんでした。

よって、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号の規定によりまして、随意契約となったもので、5月21日に仮契約を締結したものでございます。

契約金額は、2億1,451万5,000円であります。

契約の相手方は、旭市後草2364番地の3、鈴木建設株式会社、代表取締役鈴木和彦でございます。

なお、工事の期限は、平成26年3月17日でございます。

以上で、議案第4号について、補足説明を終わります。

続きまして、議案第5号、専決処分の承認について補足説明を申し上げます。

地方自治法第179条第1項の規定によりまして専決処分をいたしまして承認を求めるもの、これは、平成24年度旭市一般会計補正予算（第7号）でございます。

補正予算書の1ページをお願いいたします。

第1条は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8,390万5,000円を追加し、予算の総額を296億8,690万5,000円としたものでございます。

2ページは、歳入歳出予算の款項の補正額ですので、説明を省略させていただきます。

5ページ、お願いいたします。

初めに歳入になります。

13款2項7目総務費国庫補助金8,390万5,000円の追加は、説明欄1番、東日本大震災復興交付金を計上したものです。

下の歳出です。

2款1項4目財政管理費8,390万5,000円の追加は、歳入で説明いたしました、東日本大震災復興交付金を東日本大震災復興交付金基金へ積み立てるものでございます。

東日本大震災復興交付金につきましては、平成25年度に国から1億8,388万円を見込んでおったところでございますが、このうち、8,390万5,000円が24年度末に入ることになったため、専決処分による補正を行ったものであります。

なお、本基金につきましては、平成25年3月29日に積み立てを行ったところでございます。

以上で、議案第5号の補足説明を終わります。

○議長（林 俊介） 財政課長の補足説明は終わりました。

議案第2号について、下水道課長、登壇してください。

（下水道課長 石毛 隆 登壇）

○下水道課長（石毛 隆） 議案第2号、平成25旭市度下水道事業特別会計補正予算の議決について、補足説明を申し上げます。

今回の補正は、特定被災地方公共団体における復旧・復興を支援するため、平成25年度限りの措置として、年利4%以上の旧公営企業金融公庫資金に係ります地方債について補償金免除繰上償還が行えることから、補正するものでございます。

補正予算書の1ページをお願いいたします。

第1条は、歳入歳出予算にそれぞれ4,040万8,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ7億7,340万8,000円とするものでございます。

2ページは、歳入歳出予算の款項の補正額であり、3ページから4ページはそれぞれ事項別明細書の総括となっておりますので、詳しい内容につきましては5ページ以降でご説明申し上げます。

5ページをお開きください。

歳入についてご説明申し上げます。

6款1項1目繰越金、説明欄1番、前年度繰越金に4,040万8,000円を追加し、補正後予算額を9,040万8,000円とするものでございます。平成24年度の決算見込みの中で繰越金が見込めることから、繰上償還の財源とするものでございます。

6ページをお開きください。

歳出についてご説明申し上げます。

3款公債費、1項1目元金、説明欄1番、借入金償還費に4,133万6,000円を追加し、補正後予算額を2億2,922万6,000円とするものでございます。

2目利子、説明欄1番、借入金利子支払費は平成26年3月に支払いを予定しておりました利子92万8,000円を減額し、補正後予算額を9,165万7,000円とするものでございます。

7ページをお願いいたします。

地方債の現在高の見込みに関する調書でございます。

平成25年度末現在見込み額は元金4,133万6,000円を繰上償還することから、43億2,267万2,000円となる見込みでございます。

以上で、議案第2号の補足説明を終わります。

○議長（林 俊介） 下水道課長の補足説明は終わりました。

議案第6号、議案第7号、議案第8号について、税務課長、登壇してください。

（税務課長 佐藤一則 登壇）

○税務課長（佐藤一則） 議案第6号、旭市税条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

お配りしてあります新旧対照表のほうをよろしくお願いいたします。

1ページをお開きいただきたいと思っております。

今回の改正につきましては、地方税法の一部改正に伴い改正を行ったものであります。

初めに、第34条の7第2項、寄附金税額控除については、平成25年から復興特別所得税が課税されたことに伴い市民税における寄附金控除の適用割合が変更されたため、読みかえ規定を整備するものであります。

続きまして、第54条第5項、固定資産税の納税義務者等については、地方税法の引用箇所から「森林総合研究センターの行う事務を含む」の文言が削除されたための整理でございます。旭市については該当はございません。

次に、3ページをお願いいたします。

下のほうになりますが、附則第3条の2第1項、延滞金の割合等の特例については、近年の低金利の状況を踏まえ、国税において延滞税等の割合の見直しが行われることとあわせ、地方税に係る延滞金の割合を見直ししたものです。延滞金の特例割合については、14.6%が適用される場合は新特例基準割合に7.3%を加えた割合、7.3%が適用される場合は新特例基準割合に1.0%を加えた割合となり、平成26年1月1日以後の期間に対応する延滞金について適用されます。

なお、新特例基準割合とは、租税特別措置法第93条第2項によりまして告示された割合、市中金利となります。

続きまして4ページをお願いいたします。

附則第3条の2第2項、法人市民税に対する延滞金は、その他の税目にかかわる延滞金の特例と異なる利率を設定するため、第2項を新設したものであります。

次に附則第4条第1項、納期限の延長に係る延滞金の特例については、法人市民税の納期限の延長に係る延滞金の特例であります。

続きまして5ページをお願いいたします。

下のほうになりますが、附則第4条の2、公益法人等に係る市民税の課税の特例については、租税特別措置法第40条に第10項が追加されたため、引用条文の追加による文言の整理でございます。

6ページをお願いいたします。

附則第7条の3の2、個人の市民税の住宅借入金等特別税額控除は、住民税の住宅ローン控除が延長され、平成29年居住開始者まで適用されることとなったため、特例適用年度が平成35年度から平成39年度に延長されたものであります。

7ページをお願いいたします。

附則第10条の2第3項は、法附則第15条第37項が新設され、管理協定倉庫に対する課税標準の特例割合を市町村が定めることとなったため、当該割合を税法どおり3分の2としたものです。

下のほうになりますが、附則第22条の2、東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係

る譲渡期限の延長等の特例は、譲渡特例の新設等でございます。

少し飛ばしまして、10ページをお願いいたします。

附則第23条第1項、東日本大震災に係る住宅借入金等特別税額控除の適用期間等の特例につきましては、寄附金控除の特例が追加されたことによる文言の整理でございます。

以上で、議案第6号の補足説明を終わりにいたします。

続きまして、議案第7号、旭市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

新旧対照表12ページをお開きください。

附則第4項は、法附則第15条第37項が新設され、管理協定倉庫に対する課税標準の割合を市町村が定めることとなったことから、当該割合を税法どおり3分の2に規定したものでございます。

また、これに伴い、旧附則第4項以下の項番号を繰り下げるとともに、各附則条文を引用している箇所の文言を整理したものでございます。

以上で、議案第7号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第8号、旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を申し上げます。

新旧対照表の15ページをお開きください。

第5条の2、国民健康保険の被保険者に係る世帯別平等割額については、特定世帯に係る世帯別平等割額を5年間2分の1減額する現行の措置に加え、その後3年間を特定継続世帯とし、4分の1減額するもので、世帯別平等割額を1万5,000円としたものであります。

一番下になりますが、第23条、国民健康保険税の減額については、第5条の2で規定した特定継続世帯に対する世帯別平等割額の減額を規定したものであります。

少し飛びまして、17ページをお願いいたします。

下のほうになりますが、附則第17項、東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長の特例については、震災による滅失家屋の譲渡の特例が第4項で再定義され、また、市税条例に今回追加された相続人に対する特例適用が第5条で整備されたため、引用箇所の整理を行ったものです。

以上で、議案第8号の補足説明を終わります。

○議長（林 俊介） 税務課長の補足説明を終わりました。

ここで11時20分まで休憩いたします。

休憩 午前11時03分

再開 午前11時20分

○議長（林 俊介） 休憩前に引き続き会議を開きます。

続いて、報告の説明を求めます。

報告第1号、報告第2号について、財政課長、登壇してください。

（財政課長 加瀬正彦 登壇）

○財政課長（加瀬正彦） 報告第1号及び報告第2号について、ご説明申し上げます。

報告第1号は、平成24年度旭市一般会計繰越明許費繰越計算書についてであります。

本計算書は、平成24年度一般会計補正予算第3号、第5号及び第6号において、繰越明許費として設定した事業について翌年度へ繰り越したため、地方自治法施行令第146条第2項の規定により報告するものであります。

繰り越した事業は、全部で16事業となります。

まず、2款1項総務管理費の旭駅バリアフリー施設整備事業は、JR旭駅へのエレベーター設置に関する詳細設計の補助金で、JRにおいて工事に発生する振動、騒音等対策について不測の日数を要し、設計スケジュールに遅れが生じたため補助金1,000万円を繰り越したものでございます。

8款2項道路橋梁費の一番上、道路維持補修事業は、市内4路線の調査・測量委託料及び工事費で、国の24年度1次補正予算事業であったことから6,200万円を繰り越したもので、事業の完了は26年3月を予定しております。

次の道路新設改良事業は、市内3路線の道路改良工事、道路排水整備工事に係る事業費で、用地交渉に不測の日数を要したため7,758万5,500円を繰り越したもので、事業の完了は平成26年3月を予定しております。

次の排水路整備事業（西野地区）でございますが、西野地区の地域排水工事で、用地交渉に不測の日数を要し、工期が確保できなかったため1,916万円を繰り越したもので、事業の完了は12月を予定しております。

次の蛇園南地区流末排水整備事業は、関連工事が遅延したことから1億1,360万円を繰り越したもので、事業の完了は平成26年3月を予定しております。

次の飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業は、用地交渉の難航により7,300万円を繰り越したもので、事業の完了は平成26年3月を予定しております。

次の橋梁新設改良事業は、文化の杜公園南側の橋梁の工事費で、詳細設計に日数を要し、工期が確保できなかったため7,261万円を繰り越したもので、事業の完了は平成26年3月を予定しております。

3項都市計画費の街路整備事業（谷丁場遊正線）は、用地交渉に不測の日数を要し、工期が確保できなかったため1億2,210万円を繰り越したもので、事業の完了は平成25年9月を予定しております。

次の公園維持管理費は、国の平成24年度1次補正予算事業であったことから2,650万1,500円を繰り越したもので、事業の完了はこの10月を予定しております。

4項住宅費の災害公営住宅整備事業は、9月補正の対応であり、工期が確保できなかったため、4億6,924万2,000円を繰り越したもので、事業の完了は平成26年3月を予定しております。

9款1項消防費の消防施設整備事業は、防火水槽設置工事に係る事業費で、国の平成24年度1次補正予算事業であったことから1,211万7,000円を繰り越したもので、事業の完了は、9月を予定しております。

次の災害に強い地域づくり事業につきましては、避難誘導看板設置委託料で、経費の節減と情報伝達の相乗効果を考慮し、消防庁が設置する掲示板の柱へ設置することとしたため472万5,000円を繰り越したもので、事業の完了は7月を予定しております。

10款2項小学校費の小学校施設改修事業は、古城小学校屋外運動場整備に係る事業費で、国の事業採択により事業を前倒ししたため3,045万円を繰り越したもので、事業の完了は12月を予定しております。

次の小学校大規模改造事業は、市内小学校の工事及び設計・管理に係る事業費で、防災機能の強化等を新たに追加したため2億3,732万8,000円を繰り越したもので、事業の完了は平成26年3月を予定しております。

4項社会教育費の働く婦人の家管理費は、第二市民会館、これは旧働く婦人の家でございますが、耐震改修工事に係る事業費で、国の平成24年度1次補正予算事業であったことから4,520万3,000円を繰り越したもので、事業の完了は9月を予定しております。

13款2項公営企業費は、水道事業会計出資金で、国の平成24年度1次補正予算対応のため2,663万4,000円を繰り越したものです。

以上で、報告第1号の説明は終了いたします。

続きまして、報告第2号、平成24年度旭市一般会計事故繰越し繰越計算書について、ご説明申し上げます。

本計算書は、一般会計の平成24年度予算の事業について翌年度へ事故繰越したもので、地方自治法施行令第150条第3項の規定により報告するものでございます。

8款2項道路橋梁費の交通安全施設維持補修事業は、松ヶ谷地区の交通安全施設整備工事で、震災復興により材料の調達に時間を要したため378万9,450円を繰り越したものでありますが、4月29日に工事は完了しております。

次の道路新設改良事業は、飯岡地区の道路改良事業及び岩井地区の道路排水整備工事で、電柱移設に時間を要したため1,585万5,970円を繰り越したもので、事業の完了は7月を予定しております。

次の蛇園南地区流末排水整備事業は、電柱移設に時間を要したため4,161万6,900円を繰り越したもので、事業の完了は6月を予定しております。

次の飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業は、用地購入費、補償金に係る事業費で、用地交渉に時間を要したため676万3,741円を繰り越したもので、事業の完了は9月を予定しております。

次の飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業（繰越明許）分については、工事に係る事業費で、用地交渉に時間を要したため115万5,000円を繰り越したものでありますが、4月30日に完了しております。

9款1項消防費の災害に強い地域づくり事業は、津波退避櫓建設工事で建設予定地が狭小のため工事、資材の搬入に時間を要したため1,659万円を繰り越したものでありますが、4月10日に完了しております。

11款3項公共土木施設災害復旧費の道路橋梁災害復旧費は、湧水が発生し工事が遅延したため1,303万8,700円を繰り越したものでありますが、4月30日に完了しております。

以上で、報告第1号及び報告第2号の説明は終了いたします。

○議長（林 俊介） 財政課長の説明は終わりました。

報告第3号について、農水産課長、登壇してください。

（農水産課長 大久保孝治 登壇）

○農水産課長（大久保孝治） 報告第3号、平成24年度旭市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書について、ご説明を申し上げます。

本計算書は、平成24年度旭市農業集落排水事業特別会計補正予算第1号におきまして、繰越明許費として設定した事業について翌年度へ繰り越したもので、地方自治法施行令第146条第2項の規定により議会へ報告するものでございます。

繰り越した事業の2款1項管理費の江ヶ崎地区排水施設維持管理費は、県道旭笹川線に係る管路施設約800メートルを改修するための実施設計で、適正な工期を確保することができなかつたため繰り越したものでございます。

なお、事業の完了は、本年6月を予定してございます。

以上で、説明を終わらせていただきます。

○議長（林 俊介） 農水産課長の説明は終わりました。

報告第4号について、水道課長、登壇してください。

（水道課長 鈴木邦博 登壇）

○水道課長（鈴木邦博） 報告第4号、平成24年度旭市水道事業会計予算繰越計算書について、ご説明申し上げます。

本計算書は、平成24年度において、支払い義務の生じなかつた建設改良費を翌年度に繰り越しましたので、地方公営企業法第26条第3項の規定により報告するものでございます。

繰り越した事業は、国の補正予算に伴う干潟地区配水管布設替工事5,000万円でございます。

以上で、報告4号についての説明を終わります。

○議長（林 俊介） 水道課長の説明は終わりました。

報告第5号、報告第6号について、病院経理課長、登壇してください。

（病院経理課長 土師 学 登壇）

○病院経理課長（土師 学） 報告第5号及び第6号について、ご説明申し上げます。

報告第5号は、平成24年度旭市病院事業会計継続費繰越計算書についてであります。

これは、建設改良費であります再整備事業に係る改修工事、その他整備工事の24年度継続費予算額4,410万6,758円及び病院情報システム設備整備事業で3,150万円を25年度へ繰り越すものであります。

続きまして、報告第6号についてご説明申し上げます。

報告第6号は、平成24年度旭市病院事業会計予算繰越計算書についてであります。

1項建設改良費は、合計7,922万1,950円を繰り越すものであります。主なものは、放射線治療室準備工事3,838万5,000円で、搬出口の大きさにより切断箇所等が多くなり、施工時間

の延長が生じたことによるものであります。

10項特別損失は、第1期の4、5、6号館の解体等工事で、近隣への配慮から、施工時間の延長が生じたため、2億1,919万5,403円を25年度へ繰り越すものであります。

ともに、平成25年5月末日に完了しております。

以上で、報告を終わります。

○議長（林 俊介） 病院経理課長の説明は終わりました。

報告第7号について、商工観光課長、登壇してください。

（商工観光課長 堀江隆夫 登壇）

○商工観光課長（堀江隆夫） それでは、報告第7号、旭市土地開発公社の事業経営状況につきまして、地方自治法第243条の3第2項の規定によりご報告申し上げます。

初めに、平成24年度の事業報告及び決算について説明申し上げます。

1ページをお開きいただきたいと思います。

平成24年度の事業につきましては1点、1点目の総括事項に記載のとおり、旭市からの受託事業に係る1事業のみとなっております。

都市計画道路3・5・3号旭駅前線事業用地取得事業における所有地、26.32平方メートルを処分しまして、当該事業に係ります借入金261万2,423円を償還いたしました。

2点目の経理状況につきまして申し上げます。

収益的収支については、収益合計で362万4,475円、費用合計は469万1,528円となり、当年度の純損失は106万7,053円となりました。

また、資本的収支ですが、収入についてはなく、資本的支出については、261万2,423円となりました。

詳細につきましては2ページから4ページ、後ほどお目通しいただきたいと思います。

5ページから9ページについての損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書につきましては説明を省かせていただき、公社の保有財産の状況につきましてご説明をさせていただきます。

10ページをお願いしたいと思います。

本年3月31日現在の財産目録となります。

預金、1億391万1,479円となります。公有用地としましては、保有面積、1万2,971.11平米、資産の合計としましては、3億4,993万6,166円となります。

代替地としまして、保有面積は6,945.70平米でございます。資産としましては8.384万

4,627円となります。その他、有価証券、車両等の固定資産の合計としまして、21万3,979円
であります。

合計資産としましては、5億3,790万6,251円となっております。

なお、負債としては長期借入金としまして4億2,326万6,088円、これは旭市土地開発基金
からの借り入れとなっております。

次に、11ページから17ページ、決算の明細書でございます。後ほどご参照いただきたいと
思います。

次に、少し飛びまして、19ページをお願いいたします。

25年度の予算及び資金計画についてご説明申し上げます。

25年度の現時点での事業計画につきましてはございません。

なお、予算については、旭市からの運営費の補助金100万円を予定し、事業外収益は1万
2,000円、収入合計を101万2,000円といたしました。

支出につきましては、一般管理費としまして298万2,000円を予定しました。

明細につきましては20ページから21ページに記載してございます。後ほど、ご確認をいた
だきたいと思います。

22ページから24ページ、これにつきましては、平成25年度の予定損益計算書、予定貸借対
照表、資金計画となっております。

なお、最後に、公社につきましては、昨年度の開催の理事会、さらには5月の定例理事会
等の席上におきまして、地価下落が続く中で公社の果たす役割、これは終了したとの議論を
いただき、平成25年度をめどに公社の解散を進める等の確認をいただいたところでございま
す。

以上で、報告第7号、旭市土地開発公社の事業経営状況の説明を終わります。

○議長（林 俊介） 商工観光課長の説明は終わりました。

報告第8号について、総務課長、登壇してください。

（総務課長 米本壽一 登壇）

○総務課長（米本壽一） 報告第8号、専決処分の報告について、補足説明いたします。

地方自治法第180条第1項の規定により、当市では、市の義務に属する損害賠償の額の決
定等で100万円未満のものについては市長において専決処分することと委任されております。

この専決処分については、同条第2項の規定により議会へ報告することとなっており、平
成24年度に専決処分したものについて、今回一括して議会へ報告するものでございます。

それでは、案件ごとにご説明申し上げます。

案件1は、平成24年5月20日、旭市蛇園地先道路上において、路面の穴に自動車が進出し、タイヤ及びホイールが破損した自動車物損事故で、同年6月14日に専決しております。

損害賠償額、相手方及び和解の条件等は記載のとおりでありまして、以下同様でございます。

案件2は、平成24年7月2日、旭市八木地先文化の杜公園内において、老朽化した遊具から幼児が転落し、後頭部、背中等を打撲した事故で、同年8月8日に専決しています。

案件3は、平成24年8月27日、旭市駒込地先において、草刈作業中に小石がはね、住家の窓ガラスを破損した物損事故で、同年9月10日に専決しています。

案件4は、平成24年10月25日、旭市八木地先道路上において、市有自動車の接触による自動車物損事故で、同年11月30日に専決しております。

案件5は、平成25年1月10日、飯岡中学校において、生徒の自転車の接触による自動車物損事故で、本年2月18日に専決しております。

以上でございます。

○議長（林 俊介） 総務課長の説明は終わりました。

以上で、議案の補足説明及び報告の説明を終わります。

○議長（林 俊介） 以上をもちまして、本日の日程は全部終了いたしました。

これにて本日の会議を閉じます。

なお、本会議は4日定刻より開会いたします。

大変ご苦労さまでございました。

散会 午前11時42分